

投稿数 900 本を超えたゼミブログ！ ～教員が伝えるゼミのリアルは高校生にもオススメ！～

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）では、2007 年より高校生や一般の方に向けた「ゼミブログ」を公開しています。投稿数 900 本を超えるゼミブログは、各学部の教員らが執筆し、ゼミの取り組みをリアルにお伝えしています。新しい研究分野に対する興味を喚起し、高校生・受験生に入学後のイメージを描いてもらうことを目指しています。「ゼミブログ」では、今後も学生の学びの軌跡を追い続け、情報を発信してまいります。

武蔵「ゼミブログ」の特長

■ 学部・学科ごとのゼミの特長がわかる！興味が沸く！

ゼミブログの内容は時期や研究テーマによって様々で、写真の掲載も多数。具体的な取り組みをわかりやすく伝えていきます。

▶ 経済学部 **「生成系 AI と新しい知識を得るアプローチ」**

生成系 AI の 1 つである ChatGPT。ChatGPT が出した回答を帰納的/演繹的に検討・吟味します。新しい技術に触れながら、今後の可能性と AI を使用する際の注意点などを様々な意見が交わされます。

▶ 人文学部 **「じっくりと観る：イメージとの対話」**

美術作品を観て、何がどのように描かれているか文章にする「ディスクリプション(作品記述)」。一見初歩的に見える作業ですが実は最も難しく…美術館に足を運び、作品を鑑賞する学内にとどまらない、ゼミの様子を伝えます。



▶ 社会学部 **「ゼミの縁」**

増えてしまった本の置き場にこまっていた矢田部教授。そんなときゼミの卒業生から思いもよらぬ申し出が。ゼミの縁がつながるストーリーに心温まります。

▶ 国際教養学部 **「GS ゼミで何する？」**

「ゼミって一体何するんですか？」学生からの質問に、学年ごとにゼミでなにをするのか、どんな力が身につくのか、GS 専攻新田ゼミの例をご紹介します！ 4 年間の学びの内容をわかりやすく説明します。

■ 学部を越えて協働する「学部横断ゼミ」がわかる！

学部横断ゼミは 4 学部の学生がそれぞれの専門性をもとに、企業が直面している課題を協働して探究し、企業担当者に報告・発表する産学連携型の授業です。

学部横断ゼミブログでは、担当職員が最終報告会に向けて奮闘する学生たちの様子を伝えています。



▶ 学部横断ゼミ **「最終報告会を一般公開で実施しました」**

■ 各ブログの更新情報は大学公式 SNS でも配信しています。

X (旧 Twitter) <https://twitter.com/musashiuniv>

— 報道関係者問い合わせ先 —

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL : 03-5984-3813 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

